



令和5年10月18日

令和5年度 北陸の海と港の技術情報交流会

発表技術の募集について

本交流会は、昨年度まで「企業技術説明会」として、民間企業で開発した新技術を管内の港湾、空港等のインフラ整備に有効活用するための情報収集並びに、技術開発の現状と動向の把握等のため毎年開催して参りましたが、今年度より、管内の大学における研究発表および当事務所における技術開発動向の説明も加え「北陸の海と港の技術情報交流会」へと名称変更し開催いたします。

記

1. 日 時：令和5年11月30日（木）13：30～16：30（予定）
2. 会 場：新潟市中央区花園1丁目2番2号 コープシティ花園ガレッソ4階
GARESSO HALL「ホールa」 ※オンライン聴講有り（Microsoft Teams）
3. 募集技術

【民間企業】

- 1) 沿岸施設の防災、減災に関する技術
- 2) 生産性が従来技術より優れている新技術（DX, GX, SDGs 等）
- 3) 今後普及が期待される技術
(港湾・海岸保全施設の老朽化対策、補修工法等の新技術)

【学生】

- 1) 港湾、海岸施設の建設資機材等に関する研究
- 2) 港湾、海岸工学に関する研究
- 3) 港湾、海岸防災に関する研究
- 4) 船舶技術に関する研究
- 5) 沿岸部環境に関する研究 など

※開催時間の都合上、応募者多数の場合は抽選とさせていただく場合があります。

4. 応募期限：令和5年11月10日（金）必着
5. 応募方法：詳細については新潟港湾空港技術調査事務所 HP をご覧下さい。

<https://www.gicho.pra.mlit.go.jp/gijutsu/kigyousetsumei/index.html>

<問い合わせ先>

国土交通省 北陸地方整備局 新潟港湾空港技術調査事務所
TEL : 025-222-6115 副所長 伴、 技術開発課長 河合

令和5年度 北陸の海と港の技術情報交流会

発表技術募集要項

本交流会は、昨年度まで「企業技術説明会」として、民間企業で開発した新技術を管内の港湾、空港等のインフラ整備に有効活用するための情報収集並びに、技術開発の現状と動向の把握等のため毎年開催して参りましたが、今年度より、管内の大学における研究発表および当事務所における技術開発動向の説明も加え「北陸の海と港の技術情報交流会」へと名称変更し開催いたします。

1. 開催日時

令和5年11月30日（木）13：30～16：30（予定）

発表時間は、1技術20分（発表15分※、質疑応答5分）程度とします。

（※発表時間は発表数により変更となる場合がございます。）

2. 会場

新潟市中央区花園1丁目2番2号 コープシティ花園ガレッソ4階

GARESSO HOLL「ホールa」にて対面開催 ※オンラインにて聴講可能（Microsoft Teams）

3. 募集技術

【民間企業】

公共事業に適用可能な技術全般とし、以下の1)～3)の何れかに該当するもの。なお、技術の成立性が確認されており、実際に使用可能な技術であることを条件とします。理論上ののみの技術の応募はご遠慮下さい。

- 1) 沿岸施設の防災、減災に関する技術
- 2) 生産性が従来技術より優れている新技術（DX, GX, SDGs等）
- 3) 今後普及が期待される技術(港湾・海岸保全施設の老朽化対策、補修工法等の新技術)

【学生】

以下の1)～3)の何れかに該当するものを基本とするが、下記のいずれにも該当しない場合は、土木建設技術等に関する研究であることを条件とします。

- 1) 港湾、海岸施設の建設資機材等に関する研究
- 2) 港湾、海岸工学に関する研究
- 3) 港湾、海岸防災に関する研究
- 4) 船舶技術に関する研究
- 5) 沿岸部環境に関する研究

4. 応募方法

別添応募様式に必要事項を記入し「5. 事務局」までメールにて提出下さい。必要に応じて、パンフレット等の資料を添付して下さい。ただし、パンフレット等の資料については、メール、郵便、直接の持ち込み、どの方法で提出いただいても構いません。

なお、応募技術について、事務局より問い合わせの連絡をさせて頂く場合があります。

5. 事務局

国土交通省 北陸地方整備局 新潟港湾空港技術調査事務所

[担当：副所長 伴（ばん）、技術開発課 河合（かわい）]

住所：〒951-8011 新潟市中央区入船町4-3778

TEL：025-222-6115

E-mail: pa.hrr-gichoinfo@mlit.go.jp

6. 応募期限

令和5年11月10日（金）必着

7. その他

1) 応募技術は、「3. 募集技術」の項目を満たしているか等を事務局で確認した上、応募多数の場合、抽選で選ばせて頂きます。抽選に漏れた場合は次回開催時にご応募願います。（次回開催は、令和6年秋期の予定としております。詳細については、HP等でお知らせします。）

2) 選定結果及び説明会プログラム等の詳細については、事務局より追って連絡します。
(令和5年11月17日（金）頃お知らせする予定です。)

3) 本交流会は技術の採用を約束するもの、また技術を評価するものではありません。

4) 本交流会にかかる資料作成、郵送費、交通費等の費用は応募者負担となります。

5) **発表は原則対面形式とします。（やむを得ずWEB対応となる場合は、事前に事務局との調整をお願いいたします。）**

令和5年度 北陸の海と港の技術情報交流会 応募様式

技術名称			
区分			
使用可能な工事			
開発組織名			
従来技術			
NETIS 登録	登録番号		
技術概要			
従来技術との比較	経済性		
	安全性		
	耐久性		
	品質・出来形		
	施工性		
	環境への影響		
	その他		
技術の成立性を確認するために実施した試験・実験等			
留意事項			

【連絡先】

組織名	
担当部署または研究室	
担当者	
住所	
TEL	
E-mail	

※記入に関する注意事項

区分	製品・材料・工法・システム・機械等を記入。
使用可能な工事	どのような工事に使用できるかを具体的に記入。
従来技術	比較対象となる従来技術、広く一般的に普及している技術を記入。 具体的な技術名は記入しない。
NETIS 登録	登録済みであれば、登録番号を記入。 今後、登録をする場合は登録予定地整・登録予定期限等を記入。 登録予定がなければ「無し」と記入。
技術概要	当該技術の内容を簡単にまとめて記入。
従来技術との比較	従来技術との比較を具体的に記入。 優れた点だけでなく、劣る点についても記入。
技術の成立性を確認するために実施した試験・実験等	室内試験、第三者機関(具体的名称)による技術評価の取得等具体的に記入。
留意事項	当該技術を使用するにあたっての留意事項を記入。 特許、特定条件での使用は適さない等を記入。

令和5年度 北陸の海と港の技術情報交流会 開催要領

- 1) 発表時間は15分（準備を含む）、質疑応答時間は5分の計20分とします。
(※発表者数により、1議題当たりの設定時間が変更となる場合がございますが、変更となる場合は、発表技術確定時にお知らせいたします。)
なお、発表時間は厳守とし、15分経過した時点で、発表途中であった場合でも打ち切りとします。
- 2) 発表時間の終了はベルによりお知らせします。
12分ベル1回 15分ベル2回（ベル2回の時点で打切りとなります。）
- 3) パワーポイントによる発表を原則とします。
発表用のパソコンは事務局が用意しますが、応募者で準備頂いても結構です。
なお、当局で準備するパソコンにはパワーポイント office2019 がセットアップされております。
当局のパソコンを使用される場合は、バージョンに注意して資料を作成してください。
- 4) 事務局のパソコンを使用する場合は、発表データを事前にメール便、またはCD-R等の媒体で1部提出ください。なお、CD-R等で提出される場合には会社名と技芸名を明記してください。提出期限 11月27日（金）（必着）。
- 5) 事務局では発表に必要なノートPC、プロジェクター、スクリーン、マイク、レーザーポインタを準備します。（CD-Rで提出された発表データは事前にパソコンに取り込んでおきます。）
- 6) 聴講者への配付資料については、事前に提出ください。様式は問いません。
提出期限 11月28日（火）必着。なお、必要部数は11月24日（金）までにお知らせします。
- 7) 当日は発表者を含めた関係者の終日の聴講が可能です。発表者以外の方が参加される場合は事前にご連絡下さい。
- 8) 当日はご自身の発表時間の30分前までに会場にお越し下さい。
- 9) 発表に際し、会場内前方に発表者の席を設置し、パワーポイントの操作・発表を行って頂きます。
- 10) 提出して頂いた発表データ（CD-R）及び配付資料は、当局関係部署等に提供する場合があります。

11) 聴講は、国土交通省職員、参加各大学の学生ほか発表関係者等を対象とします。

12) 不明な点がある場合は事務局まで問い合わせ下さい。

【WEB対応について】

発表は対面形式を原則としますが、やむを得ずWebでの発表となる場合は、事前に事務局への連絡と調整が必要となります。

また、Web発表はMicrosoft Teamsのみの対応となります。(※発表者は会議参加者氏名の前に【発表者】と記載下さい。)

1) 聴講者向けにWeb(Microsoft Teams)配信を行います。但し、映像の録画・録音は禁止いたします。(Web参加者は事務局が識別できるよう、参加者名に所属・氏名の情報を含むようにして下さい。)

2) 会議URLは、聴講希望者および申込者へメールでご連絡します。なお、第三者には知らせないで下さい。

4) Web参加者は発言時(発表・質疑)以外、ノイズ防止のため、マイク及びカメラはOFFに設定して下さい。

[発表者向け]

5) 発表者は、ご自身の発表予定時刻の10分前までに接続をお願いいたします。

また、ご自身の発表の開始直前に、カメラ(推奨)、マイクをONに設定し、発表資料を画面の共有設定をお願いいたします。

発表終了後は、画面共有を停止し、カメラ、マイクをOFFに設定してください。

[聴講者向け]

6) 当日は発表者を含めた関係者の終日の聴講が可能です。発表者以外の方が参加される場合は事前にお申し込み下さい。

7) 質問は挙手機能ではなく、事務局への声かけを推奨します。

質問される場合はカメラ(推奨)、マイクをONにして、事務局へ声かけを行ってください。

事務局から指名されたら、所属と氏名を伝えた後に質問を行ってください。

質問終了後はカメラとビデオをOFFにしてください。

時間内に質問ができなかった場合は後日事務局へご連絡ください。

[その他] 不明な点がある場合は事務局まで問い合わせ下さい。

企業技術説明会 発表技術一覧

第1回 企業技術説明会

開催日:平成21年6月22日(月)

	発表時間			技術名称	発表企業等
1	13:25	～	13:45	MLT工法	株式会社 エムエルティーソイル
2	13:45	～	14:05	粒子法(MPS法)を用いた解析技術	株式会社 ニュージェック
3	14:05	～	14:25	現地で運用するための工事中の濁り拡散予測システム	株式会社 エコ一
	14:25	～	14:35	休憩	
4	14:35	～	14:55	PREDAM(プレダム)工法	若築建設 株式会社
5	14:55	～	15:15	地中無線通信システム	坂田電機 株式会社
6	15:15	～	15:35	貝殻利用技術「JFシェルナース」	全国漁業協同組合連合会
	15:35	～	15:45	休憩	
7	15:45	～	16:05	岸壁・護岸耐震補強アンカーワーク法	株式会社 エスイー
8	16:05	～	16:25	トワーリフレッシャーシステム	株式会社 本間組
9	16:25	～	16:45	GPサンプリング	基礎地盤コンサルタンツ 株式会社

第2回 企業技術説明会

開催日:平成21年11月30日(月)

	発表時間			技術名称	発表企業
1	13:10	～	13:35	3次元レーザースキャナによる空間計測工法	株式会社 トップライズ
2	13:35	～	14:00	波浪共振型消波工法	株式会社 三柱
3	14:00	～	14:25	TP(チタンカバー・ヘリコタム被覆)工法	日鉄防蝕 株式会社
	14:25	～	14:35	休憩	
4	14:35	～	15:00	エキスピッカーワーク法	日特建設 株式会社
5	15:00	～	15:25	渦消波型長周期波対策工	五洋建設 株式会社
6	15:25	～	15:50	バックホウ型スーパープラットパケット(SGB)浚渫工法	東亜建設工業 株式会社
	15:50	～	16:00	休憩	
7	16:00	～	16:25	海藻植え付け方式による藻場造成ブロック工法	本間コンクリート工業 株式会社
8	16:25	～	16:50	ペルメックス	株式会社 不動テトラ
9	16:50	～	17:15	ソイルクリーンシステム(ソックス工法)	株式会社 本間組

第3回 企業技術説明会

開催日:平成22年6月28日(月)

	発表時間			技術名称	発表企業
1	13:25	～	13:50	環境活性コンクリート	日建工学 株式会社
2	13:50	～	14:15	SPD—M工法	東亜建設工業 株式会社
3	14:15	～	14:40	海洋レーダーによる海象情報配信システム	国際航業 株式会社
	14:40	～	14:50	休憩	
4	14:50	～	15:15	高強度PRC版	株式会社 ガイアート・K
5	15:15	～	15:40	VHS工法による海域制御システム	五洋建設 株式会社
6	15:40	～	16:05	新しい消波ブロック—テトラネオ—	株式会社 不動テトラ

第4回 企業技術説明会

開催日:平成22年12月3日(金)

	発表時間			技術名称	発表企業	
1	13:40	～	14:05	高耐波安定性消波ブロック(グラスブ)	日建工学 株式会社	
2	14:05	～	14:30	2段タイ材地下施工法	若築建設 株式会社	
3	14:30	～	14:55	底天端有脚式離岸堤パリアウインT	東洋建設 株式会社	
	14:55	～	15:05	休憩		
4	15:05	～	15:30	SAVE-SP(セーブ・エスピーア)工法	株式会社 不動テトラ	
5	15:30	～	15:55	生物共生型多孔質ブロック	本間コンクリート工業 株式会社	
6	15:55	～	16:20	潜水作業管理システム	株式会社 本間組	

第5回 企業技術説明会

開催日:平成23年12月1日(木)

	発表時間			技術名称	発表企業	
1	13:40	～	14:05	浸透固化処理工法	五洋建設 株式会社	
2	14:05	～	14:30	吸出防止目地材 RF型目地材	シバタ工業 株式会社	
3	14:30	～	14:55	コンクリート保水養生テープ	住友スリーエム 株式会社	
	14:55	～	15:05	休憩		
4	15:05	～	15:30	グラウンドアンカー耐震補強技術	社団法人 日本アンカー協会	
5	15:30	～	15:55	ESR工法	新潟県土質改良事業協同組合	
6	15:55	～	16:20	ケーション据付管理システム	株式会社 本間組	

第6回 企業技術説明会

開催日:平成24年11月30日(金)

	発表時間			技術名称	発表企業	
1	13:40	～	14:05	捨石均し精度緩和対応摩擦増大アスファルトマット工法	海洋アスファルト工法研究会	
2	14:05	～	14:30	マルチジエット工法	前田建設工業株式会社	
3	14:30	～	14:55	クレーン作業安全誘導システム	株式会社本間組	
	14:55	～	15:05	休憩		
4	15:05	～	15:30	防波堤港内側補強工法「サブプレオフレーム」	日建工学株式会社	
5	15:30	～	15:55	RSプラス	新日鐵住金株式会社	
6	15:55	～	16:20	回転式破碎混合工法によるリサイクル技術	日本国土開発株式会社	

第7回 企業技術説明会

開催日:平成25年11月29日(金)

	発表時間			技術名称	発表企業	
1	13:40	～	14:05	超多点注入工法	地盤注入開発機構 恒久グラウト・本設注入協会	
2	14:05	～	14:30	泥土リサイクル技術「ポンテラン工法」	ポンテラン工法研究会	
3	14:30	～	14:55	SAVE-SP(セーブ・エスピーア)工法	株式会社 不動テトラ	
	14:55	～	15:05	休憩		
4	15:05	～	15:30	NEWネオソーラⅢ	五洋建設株式会社、株式会社仙台銘板、株式会社エスエスシー	
5	15:30	～	15:55	非鉄スラグを利用した港湾・空港用工事のコストダウン	日本鉱業協会	
6	15:55	～	16:20	ソイルセパレータ・マルチ工法	東亜建設工業株式会社	

第8回 企業技術説明会

開催日:平成26年11月21日(金)

	発表時間			技術名称	発表企業
1	10:10	～	10:35	ひずみや変位等の簡易モニタリングシステムの開発	東電設計株式会社
2	10:35	～	11:00	空港の耐震化における液状化対策技術～SAVE-SP工法～	株式会社不動テトラ
3	11:00	～	11:25	CPGガイドアーク工法	静的圧入締固め工法研究会
4	11:25	～	11:50	ニューマチックケーソン工法の港湾構造物への適用	株式会社大本組
	11:50	～	13:10	昼 休 憩	
5	13:10	～	13:35	ケーソン据付工事における安全性確保と施工性向上技術	株式会社本間組
6	13:35	～	14:00	プレミックス船工法	プレミックス船工法協会
7	14:00	～	14:25	ジェットポンプ式サンドバイパス工法	五洋建設株式会社、カルドノ社
	14:25	～	14:35	休 憩	
8	14:35	～	15:00	PFP工法による浚渫土の減容化と有効活用	りんかい日産建設株式会社
9	15:00	～	15:25	パフェグラウト工法	日特建設株式会社
10	15:25	～	15:50	高耐久組立式PC桟橋	株式会社日本ビーエス
11	15:50	～	16:15	Kui Taishin-SSP工法	オリエンタル白石株式会社

第9回 企業技術説明会

開催日:平成27年11月26日(木)

	発表時間			技術名称	発表企業
1	13:05	～	13:30	吸水性泥土改良材「ワトル」	ジャイワット株式会社
2	13:30	～	13:55	ハイブリッド型真空圧密工法	五洋建設株式会社
3	13:55	～	14:20	PFP工法による浚渫土の減容化と有効活用～新たな活用先の提案～	りんかい日産建設株式会社
	14:20	～	14:30	休憩	
4	14:30	～	14:55	かく乱・減容化技術	東亜建設工業株式会社
5	14:55	～	15:20	捨石施工システム	株式会社本間組
6	15:20	～	15:45	ツイスタ	技研興業株式会社
	15:45	～	15:55	休憩	
7	15:55	～	16:20	港湾施設等に対する電磁波レーダー空洞探査	みらい建設工業株式会社
8	16:20	～	16:45	多点同時注入工法	地盤注入開発機構 液状化防止注入協会
9	16:45	～	17:10	FTJ-FAN(エフティジェイ・ファン)工法	株式会社不動テトラ

第10回 企業技術説明会

開催日:平成28年11月18日(金)

	発表時間			技術名称	発表企業
1	14:40	～	15:05	超防食コーティング材ラスタッフ2100シリーズ	株式会社アクセス
2	15:05	～	15:30	没水型長周期波対策工	株式会社不動テトラ
	15:30	～	15:40	休憩	
3	15:40	～	16:05	水中三次元座標測量システム	株式会社本間組
4	16:05	～	16:30	ラジコンボートを用いた港湾構造物の点検・診断システム	五洋建設株式会社

第11回 企業技術説明会

開催日:平成29年10月26日(木)

	発表時間			技術名称	発表企業
1	14:40	～	15:05	CI-CMC-HA(シーアイ シーエムシー エイチエー)工法	株式会社不動テトラ
2	15:05	～	15:30	空気注入不飽和化工法(Air-des工法)	東亜建設工業株式会社
	15:30	～	15:40	休憩	
3	15:40	～	16:05	水中3D誘導システム	株式会社本間組
4	16:05	～	16:30	船舶レーダーモニタリングシステム	りんかい日産建設株式会社

第12回 企業技術説明会

開催日:平成30年11月20日(火)

	発表時間			技術名称	発表企業
1	13:40	～	13:55	SLJスラブ	オリエンタル白石株式会社
2	13:55	～	14:10	土留部材引抜同時充填注入工法	協同組合Masters
3	14:10	～	14:25	NSカバーブレート	新日鐵住金エンジニアリング株式会社
4	14:25	～	14:40	拡張現実を用いた水中可視化技術 Beluga-AR	東亜建設工業株式会社
	14:40	～	14:50	質疑応答	
	14:50	～	15:00	休憩	
5	15:00	～	15:15	水中ドローンを使用した海洋構造物調査	ポートコンサルタント株式会社
6	15:15	～	15:30	4Dソナーによる施工管理システム	五洋建設株式会社
7	15:30	～	15:45	消波工の3次元点群を用いた消波ブロックのソリッドモデリング技術	株式会社不動テトラ
8	15:45	～	16:00	PPTシステム	株式会社技研製作所
	16:00	～	16:10	質疑応答	

第13回 企業技術説明会

開催日:令和元年11月28日(木)

	発表時間			技術名称	発表企業
1	14:10	～	14:35	D・Box工法	パシフィックコンサルタンツ株式会社
2	14:35	～	15:00	流電陽極出力電流解析工法	日本防蝕工業株式会社
3	15:00	～	15:25	ネットバッファ工法(ケーンソ目地透過波低減法)	前田工織株式会社
	15:25	～	15:40	休憩	
4	15:40	～	16:05	高炉スラグ細骨材を用いた超耐久性コンクリート「ハレーサルト」	ランデス株式会社
5	16:05	～	16:30	3次元データを活用した消波工の設計から維持管理の効率化技術	株式会社不動テトラ
6	16:30	～	16:55	ICTを適用したブロック据付工	株式会社本間組

第14回 企業技術説明会

開催日:令和2年10月22日(木)

	発表時間			技術名称	発表企業
1	13:30	～	13:50	港湾施設被害度診断システムの開発	株式会社ニュージェック
2	13:50	～	14:10	LSS流動化処理土による護岸空洞補修工法(ジュウテンバッグ工法)	徳倉建設株式会社
3	14:10	～	14:30	耐候性大型土のう(ツートンバッグ)を使用した高潮・高波被害への直前予防対策	前田工織株式会社
4	14:30	～	14:50	消波ブロック据付工の生産性向上に向けた水中可視化技術	株式会社本間組
	14:50	～	15:00	休憩	
5	15:00	～	15:20	根入れ式ケーン工法	株式会社大本組
6	15:20	～	15:40	「ラクナ・IV」の没水型長周期波対策工への適用	日建工学株式会社
7	15:40	～	16:00	GeoPilot®-AutoPile	株式会社不動テトラ
8	16:00	～	16:20	コンクリート型枠振動機締固めシステム	若築建設株式会社

第15回 企業技術説明会

開催日:令和3年10月14日(木)

	発表時間			技術名称	発表企業名
1	13:30	～	13:50	Re-Pier工法	あおみ建設株式会社
2	13:50	～	14:10	不織布カバー防食工法「NEac+Q-set工法」 つる性強壮雑草(葛)登攀防止ネット「バリオスネット」	小泉製麻株式会社
3	14:10	～	14:30	舗装ひび割れ抑制シート「グラスグリッド」	アークノハラ株式会社
4	14:30	～	14:50	深梁工法	JFEエンジニアリング株式会社
	14:50	～	15:00	休憩	
5	15:00	～	15:20	回転式破碎混合工法の新たな展開	日本国土開発株式会社
6	15:20	～	15:40	防波堤港内側補強工法とブルーカーボン	日建工学株式会社
7	15:40	～	16:00	LSS流動化処理土による護岸空洞補修工法 (ジュウテンバッグ工法)	徳倉建設株式会社
8	16:00	～	16:20	CIMモデル導入による排砂管敷設工事の生産性向上技術	株式会社本間組
9	16:20	～	16:40	フィルターユニットS型による捨石被覆	キヨーワ株式会社

第16回 企業技術説明会

開催日:令和4年10月27日(木)

	発表時間			技術名称	発表企業名
1	13:40	～	14:05	音響カメラ搭載型ROV	株式会社 本間組
2	14:05	～	14:30	音響計測機器および光学機器によるインフラ点検技術	いであ株式会社
3	14:30	～	14:55	WSSレノシート	前田工織株式会社
	14:55	～	15:10	休憩	
4	15:10	～	15:35	防波護岸「フレア護岸」	ケイコン株式会社
5	15:35	～	16:00	吊荷回転制御装置「水中ジャイロ」と水中遠隔玉外し装置のコンビネーションによる運用	若築建設株式会社
6	16:00	～	16:25	消波ブロックのリアルタイム据付シミュレーション技術	株式会社 不動テトラ
7	16:25	～	16:50	港湾におけるブルーカーボン生態系創出技術	三省水工株式会社